

各国アカデミー調査

令和5年8月29日

日本学術会議

オーストラリア科学アカデミー	1
オーストリア科学アカデミー	5
ベルギー王立科学・文芸・美術アカデミー	8
チリ科学アカデミー	10
コロンビア精密・物理・自然科学アカデミー	12
コスタリカ科学アカデミー	15
デンマーク王立科学・文学アカデミー	17
エストニア科学アカデミー	19
フィンランド科学・文学アカデミー	22
アテネアカデミー	25
ハンガリー科学アカデミー	27
アイルランド王立アカデミー	29
イスラエル科学・人文アカデミー	32
ラトビア科学アカデミー	35
リトアニア科学アカデミー	38
メキシコ科学アカデミー	41
オランダ王立芸術・科学アカデミー	44
ノルウェー科学・文学アカデミー	47
ニュージーランド王立協会	50
ポーランド科学アカデミー	55
リスボン科学アカデミー	57
スロベニア科学芸術アカデミー	60
スペイン王立精密・物理・自然科学アカデミー	63
スウェーデン王立科学アカデミー	65
トルコ科学アカデミー	68

- ※ 5月25日に公表した「各国アカデミー調査」に含まれていない OECD 加盟国のアカデミーのうち国際学術会議（ISC）及びインターアカデミー・パートナーシップ（IAP）に加盟しているアカデミーを調査した。
- ※ ベルギーとフィンランドは ISC と IAP に加盟しているアカデミーがアカデミーの協議体のため、両国の代表的なアカデミーを調査した。アイスランドとルクセンブルグは該当アカデミーが存在しない。チェコ、スロバキア、スイスは法人が会員であるため除外した。
- ※ 調査には公開情報のみを用いた。

オーストラリア科学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1954 年
組織形態	独立した非営利法人（英国王立協会にならって設立）
カバーする学問分野	自然科学
会員の資質	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常オーストラリアに居住し（オーストラリア国籍又は永住権を保有）、オーストラリアの研究機関に所属し、かつ、自然科学分野の科学的業績と研究で卓越した者であること。 ・ 国内的・国際的知名度、自身の研究以外の功績（リーダーシップなど）も考慮される。 ・ 会員のジェンダーバランスも考慮される。
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	年会費あり（額は評議会で決定）。報酬なし。
会員数	<p>会員 601 名（2023 年 5 月時点）</p> <p>※毎年「通常選挙」によって最大 20 名、「特別選挙」によって最大 4 名の新会員の選出が可能。</p> <p>連携会員 36 名（2023 年 5 月時点）</p> <p>※海外の著名な科学者の中から毎年 2 名まで選出可能。科学的業績と発見により著名であるが、通常オーストラリアに居住していない者。</p>
アカデミーの機能	顕彰、研究助成、科学的助言、出版
組織体制（意思決定機関の構造）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評議会：会長、物理科学担当幹事、生物科学担当幹事、国際担当幹事、科学政策担当幹事、教育・普及啓発担当幹事、財務担当幹事、評議員 10 名（物理科学部門から 5 名、生物科学部門から 5 名）で構成。これら 17 名は年次総会で選出される。アカデミーの業務を管理し、憲章に規定する権限（財産の管理等）の他、総会が行使しなければならない憲章・内規を除くすべての権限を行使する。 ・ 執行委員会：会長、物理科学担当幹事、生物科学担当幹事、国際担当幹事、科学政策担当幹事、教育・普及啓発担当幹事、財務担当幹事の 7 名（評議会の幹事 7 名）で構成。インテグリティ広報担当者がオブザーバーとして参加。 ・ 総会：直前の年次総会の開催から 15 カ月以内に開催。評

	<p>議会報告の受理・審議、財務諸表の受理・審議、地域諮問委員会（※）からの報告の受理・審議、監事の選出、評議会メンバーの選挙留意（選出は別途実施）等を行う。</p> <p>※評議会が設置する委員会の一つで、各地域に居住する会員で構成される。</p>
事務局体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 70 名（2022 年末時点） <p>うち事務局上級管理チームは、最高経営責任者、最高執行責任者、最高情報責任者、科学政策担当ディレクター、教育担当ディレクター、慈善活動担当ディレクター、フェローシップ・表彰担当ディレクター、人・文化部門長、国際プログラム・国内委員会担当ディレクター、コミュニケーション・アウトリーチ担当ディレクターの 10 名で構成。</p>

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし
会員選出後の手続き	<p>新会員の紹介式典（選挙後の年次総会期間中に開催される）において、新会員は憲章簿（Charter Book）に署名し、所定の宣誓を行う。</p>
会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・ コ・オプテーション方式 ・ 毎年、20 名まで「通常選挙」で選出、4 名まで「特別選挙」で追加的に選出。 <p>通常選挙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現会員が候補者を推薦。6 月中旬までに、200 を超える、オーストラリアの STEM* と高等教育のセクターのリーダーに候補者の提案を求める（提案は検討に付され、推薦にふさわしければ、推薦を担う適切な会員が決定される）。推薦の締切は 8 月 31 日。 ・ * Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Mathematics（数学）の略称。 ・ 9 月～10 月 「部門別委員会」（部門別の選考委員会）が候補者のショートリストを作成（追加的な独立の審査員による報告が必要）。 ・ 2 月上旬 各部門別委員会が評議会に推薦する最終候補者を決定するために会合を持つ。各部門別委員会は、単一の性別を代表する場合は 2 名まで、複数の性別を代表する場合は 3 名まで推薦可能。 ・ 3 月上旬 理事会が、全ての候補者を考慮し、会員投票に

	<p>かける最大 20 名までの最終リストを決定。各候補者の選出には3分の2以上の会員の賛成投票（同意）が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3月末 選挙管理官による投票の集計が行われ、新しい会員が選出される。 ・ 5月末 新会員の公表。 <p>特別選挙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年3月1日以降の可能な限り早い時期の評議会の会合において、評議会メンバーの投票（少なくとも9票の賛成が必要）により、会員の候補者として、「特別選挙」への推薦が決定される（4名以内）。会員の3分の2以上の賛成投票によって当選。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部門別委員会が必要に応じて、あるいは望ましい場合、オーストラリア又は海外の認められた専門家に意見を求めることができる。 ・ 候補者を幅広く発掘するため、オーストラリアの STEM と高等教育のセクターのリーダーに対し、候補者の示唆を求める制度もある。

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	アカデミーの目的として「科学的事項に関し、国家に助言する」「現在の科学、技術、新たな研究に関する権威ある情報と助言を提供し、議論に情報を提供し、エビデンスに基づく政策立案と意思決定を支援する」と規定されている。
科学的助言の実績	<p>2022 年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 政府への提出文書（政策策定・分析における情報・意見提供）31 件 ・ 主要レポート 5 件 ・ ポジション・ステートメント（現在の問題についてアカデミーの立場を明確にする声明）1 件

4. 財政

年間収入	<p>2022 年度（会計年度は7月～6月）</p> <p>総収入 649 万豪ドル（約5億5,700万円）</p> <p>主な内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成金収入 490 万豪ドル（約4億2,000万円） ・ 寄付金・賛助金 106 万豪ドル（約9,100万円） <p>※ 1 豪ドル=85.74 円（2021-2022 年平均）</p>
年間支出	2022 年度（会計年度は7月～6月）

	<p>総支出 1,120 万豪ドル (約 9 億 6,000 万円)</p> <p>主な内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育プログラム管理 172 万豪ドル (約 1 億 4,700 万円) ・コミュニケーション・アウトリーチ活動 168 万豪ドル (約 1 億 4,400 万円) <p>※ 1 豪ドル=85.74 円 (2021-2022 年平均)</p>
--	---

5. 事業計画・外部評価

業務計画	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略計画 (Strategic Plan 2018-2022) を策定。 ・科学 10 年計画 (Decadal plans for science) 各種科学分野の 10 年間の戦略計画を策定 (一部は中間レビューも実施)。
外部評価	毎年 (少なくとも一回) 外部会計監査を受ける。

オーストリア科学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1847年
組織形態	連邦政府からの特別な保護を受ける公法上の法人
カバーする学問分野	数学・自然科学部門 人文科学・社会科学部門
会員の資質	人格、科学的業績及び科学界における評価に関し、アカデミーの定める高度の基準を満たしていること。
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	規定なし
会員数	<p>定数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正会員 90名（各部門45名ずつ） ・連携会員 250名（各部門125名ずつ、うち55名はオーストリア人、70名は外国人）、任期5年 ・名誉会員 24名（各部門9名ずつ、6名のアカデミー会員） ・若手アカデミー会員 70名、任期8年 ・70歳以上の正会員及び連携会員は定数に含まないが、その権利はすべて保持する。 <p>総会員数 761名（2023年8月時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文科学・社会科学部門：正会員91名、オーストリア人連携会員93名、外国人連携会員171名、名誉会員8名 ・数学・自然科学部門：正会員91名、オーストリア人連携会員91名、外国人連携会員143名、名誉会員8名 ・若手アカデミー会員 65名
アカデミーの機能	科学の推進、26の研究所の運営、人材育成、知識・成果の普及、科学的助言、会議等の開催、国際協力、奨学金や賞金の授与
組織体制（意思決定機関の構造）	<ul style="list-style-type: none"> ・総会：アカデミーの最高意思決定機関 アカデミーの発展計画の決定、執行委員会メンバーの選出、アカデミー評議会メンバーの選出、賞の授与等を行う。 ・執行委員会：アカデミーの会長、副会長、2名の部門長から構成。アカデミー全体に関する事項を執行する。 ・アカデミー評議会：総会で選出される16名で構成。正会員10名（各部門5名ずつ）、オーストリア人連携会員1名、若手アカデミー会員1名、非アカデミー会員4名（うち2名は財務専門家）が会計プロセスの監督、リスク管理、内

	部統制等を行う。
事務局体制	1,800名（2023年6月現在） ※その多くは、研究所などで研究に関わる人のことと解される。

2. 会員選考

会員の任命権者	規約なし （執行委員会のメンバーの選出は連邦大統領の承認が必要）
会員選出後の手続き	選挙結果を受諾することにより、アカデミーの目的を推進し、その活動に参加することを誓約する。
会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・正会員、連携会員、名誉会員は年1回開催される記念大会に先立つ選挙会合において選出される。この会合には正会員のみが参加できる。 ・選出された候補者の氏名は、関連する連邦大臣に報告される。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	規約なし

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	規約第2条（4）に「アカデミーは科学に関連する問題について意見を述べる。連邦機関、州機関、その他の法人に科学的情報を提供することができる」と規定されている。
科学的助言の実績	アカデミー傘下の技術評価研究所は、オーストリア議会に現在の問題と傾向に関するモニタリング報告書を年2回提出している。

4. 財政

年間収入	2022年 1億8,114万ユーロ（約250億円） 2021年～2023年までの政府からの資金は約4億ユーロ（約591億万円） 欧州委員会からの助成金、公的利益、私的利益及びその他の収益も収入となる。 ※ 1ユーロ=138.04円（2022年平均）
年間支出	2022年 1億8,114万ユーロ（約250億円） うち自然科学・技術科学研究所 8,659万ユーロ（約119億円） 人文・社会・文化科学研究所 3,514万ユーロ（約48億円）

	委員会、中央管理部門等 4,796 万ユーロ（約 66 億円） 助成金・賞金 1,020 万ユーロ（約 14 億円） ※ 1 ユーロ = 138.04 円（2022 年平均）
--	---

5. 事業計画・外部評価

業務計画	3 年ごとに発展計画を作成（直近は 2024-2026 年版）
外部評価	公開情報なし

ベルギー王立科学・文芸・美術アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1772 年
組織形態	公益法人（国王はアカデミーの庇護者）
カバーする学問分野	科学（数学、物理学、化学、生物、地質学）、文学・倫理・政治学（歴史、考古学、文学、倫理・哲学、政治学、社会学、経済学、法学、地理学、心理学）、美術（造形美術、建築と都市計画、音楽とダンス、歴史と芸術批評）、技術・社会
会員の資質	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選挙時に 65 歳以下であること。 ・ 主要居住地がベルギーであること。 ・ （選出される）部門の活動に関連して重要な貢献をした者であること。
会員は終身/任期	終身（75 歳以上は名誉会員に移行できる）
年会費/会員報酬	規定なし
会員数	会員 194 名 連携会員 210 名（2023 年 7 月時点） 2022 年の新会員 13 名
アカデミーの機能	顕彰、科学的助言、研究助成、出版
組織体制（意思決定機関の構造）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総会（Assemblée générale）：年 1 回開催。アカデミーの会員で構成され、常任幹事の選出、組織規定及び一般規則の改訂等を行う。 ・ 管理委員会（Commission administrative）：アカデミーの全ての重要事項の運営管理を行う。会長、常任幹事、各部門から選出された 2 名ずつの代表、部門の部長、副部長、前部長、若手アカデミーの代表、ベルギーコレギウム（Collegium）のディレクターから構成される。
事務局体制	事務局長の下、各学術部門、若手アカデミー、国際関係、人事・会計、出版、コミュニケーション、図書館・アーカイブ・コレクション等で構成。

2. 会員選考

会員の任命権者	フランス語共同体政府によって提出され国王の承認を得る。
会員選出後の手続き	規定なし

会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選挙の前年の第4四半期に、部門が新たに選出する人数や選挙日を決定。 ・ 2月または選挙に定められた日の1カ月前に部門会議が招集され、候補者リストを非公開で検討。少なくとも2名の会員から提案され、候補者の肩書と資質を示す概略が付いている場合にのみ検討される。検討には、連携会員（名誉連携会員、退職連携会員を含む）も参加して、助言を与える立場から意見を述べることができる。 ・ 投票は、部門の会員が行う（秘密投票）。定足数は5分の3以上で、達しなければ次に持ち越される。 ・ 候補者のうち、最も多く票を獲得した者、かつ部門の会員数の3分の1を超える票を獲得した者が選出される。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	規定なし

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	アカデミー規定第1条に「アカデミーは公的機関または自らのイニシアチブで、科学、文芸、芸術または社会一般に資する意見を表明する」とある。
科学的助言の実績	2022年 4件

4. 財政

年間収入	公開情報なし
年間支出	公開情報なし

5. 事業計画・外部評価

業務計画	公開情報なし
外部評価	公開情報なし

チリ科学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1964年
組織形態	チリ研究所（文部省と関係を持つ自治法人）を構成する6つのアカデミーの1つ（他のアカデミーは、言語、歴史、社会科学・政治・倫理、医学、美術）
カバーする学問分野	自然科学
会員の資質	<ul style="list-style-type: none"> ・チリ国籍（選挙時にチリに居住している） ・35歳以上 ・名声が認められ、信頼できる、現役の科学者 ・高レベル科学誌、書籍、専門書に掲載されたオリジナルの研究論文の質、及び科学のいずれかの分野を積極的に高める後継者の育成という業績によって評価される。
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	規定なし
会員数	会員 34名（最大36名） 連携会員 47名（最大48名） 外国連携会員 62名（最大数の規定なし） 名誉会員 21名（最大36名） 員数外会員 4名 （2023年6月時点）
アカデミーの機能	研究支援、科学知識の普及、顕彰、科学的助言、出版、研究資金・奨学金の提供、国際協力・交流
組織体制（意思決定機関の構造）	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会：会長、副会長2名、書記、副書記、財務担当で構成。 ・総会：アカデミーの年次報告、新会員の選出等を行う。
事務局体制	公開情報なし

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし
会員選出後の手続き	選出後に会員になることを60日以内に受諾。アカデミーの活動に最大限に参加することを誓約し、会員受諾の書面を事務局に提出後にアカデミーにおける発言権及び投票権を得る。

会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3名以上の会員による推薦を事務局に提出。 ・ 総会において、3分の2以上の会員が出席し、絶対過半数を獲得した者が選出される。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	規定なし

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	規定第1条 h)に、アカデミーの活動として、「科学の発展の普及、特に国家の課題の解決への応用のために、科学の進歩に関する情報を収集する」と規定されている。
科学的助言の実績	2021年 2件

4. 財政

年間収入	公開情報なし
年間支出	公開情報なし

5. 事業計画・外部評価

業務計画	公開情報なし
外部評価	公開情報なし

コロンビア精密・物理・自然科学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1823 年
組織形態	私法に基づく科学機関であり、法的地位を有する非営利法人。政府の諮問機関。
カバーする学問分野	精密科学、物理科学、自然科学、それらの応用分野
会員の資質	正会員 (miembros de número) <ul style="list-style-type: none"> ・最低 4 年間連携会員であった上で、著名な貢献をした科学者。 ・新しい研究者の育成に貢献した科学者。 ・アカデミーの活動に積極的に参加した科学者。
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	<ul style="list-style-type: none"> ・年会費：規定なし ※地域支部が支部会員に対して会費の支払いについて合意できる旨の規定あり。機関会員（学術の発展に貢献しアカデミーと合意した活動への責任を負う機関・法人）は会費を払う。 <ul style="list-style-type: none"> ・報酬なし
会員数	<ul style="list-style-type: none"> ・正会員 62 名 ・連携会員（コロンビアの科学的発展に貢献した、特別な功績を有する国内外の科学者）169 名 ・名誉会員（顕著な業績を有し、高い階層にある国内外の科学者）30 名 (2022 年 3 月時点)
アカデミーの機能	科学教育の発展、顕彰、研究の促進支援、科学的助言、国際交流、出版
組織体制（意思決定機関の構造）	<ul style="list-style-type: none"> ・総会：アカデミーの最高意思決定機関。全会員で構成。会員の選出（名誉会員への昇格決定を含む）、理事会メンバーの選出、内部規則の承認、規約の改正、財務諸表・活動プログラム・予算の承認、地域支部の設立承認、公式声明の決定等を行う。定足数は投票権を有する会員の 15% 超、投票参加者の単純過半数によって決議される。 ・理事会：アカデミーの運営機関。会長、副会長、事務局長、前会長、出版ディレクター、4 つの支部の各代表で構成。少なくとも毎月 1 回開催。アカ

	デミーの管理・運営、規則の作成・承認、予算検討と総会への提出、地域支部設立の提案、委員会の設置、賞・栄誉の創設・統制、機関会員・会友の任命等を担う。
事務局体制	公開情報なし

2. 会員選考

会員の任命権者	荘厳総会において、会長が新会員に認定書を授与。
会員選出後の手続き	正会員及び連携会員の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・会長が選出された候補者に選挙結果を伝達し、選挙の翌日にアカデミーの電子会報で結果を公表。 ・候補者は、公開の荘厳総会において、特別に準備された未公開の論文を発表（正会員候補の場合は、会長が指名した正会員又は名誉会員が批評を行う）。 ・会長から会員認定書と記章が授与される。
会員選考	正会員及び連携会員の選考 <ul style="list-style-type: none"> ・3名の会員（うち1名は連携会員でよい）から会長宛に推薦（連携会員候補の推薦の場合は、地方支部が推薦者になることもあり得る）。 ・会長が、理事会と協議の上、推薦委員会を任命。推薦委員会は3名の正会員又は名誉会員で構成され、候補者が要件を満たしているかにつき、調査・評価・意見提出を行う。推薦委員会は理事会に報告書を提出。 ・理事会は、推薦委員会の同意を得て、事務局長から提出されたコメントを考慮し、要件を満たす候補者を決定。 ・通常総会において、無記名投票により選出。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	推薦委員会は、必要に応じて専門家の助言を求めることができる。

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	規約第6条に「アカデミーは政府及び政府機関に対し、科学と学術の発展のための行動と政策を提言する」と規定されている。
科学的助言の実績	2022年 少なくとも1件 2023年 少なくとも1件

4. 財政

年間収入	2023 年（予算） 総収入 12 億 3,100 万コロンビア・ペソ（約 3,500 万円） 主な内訳 ・教育省から 6 億 7,100 万コロンビア・ペソ（約 1,900 万円） ・第三者とのプロジェクト 4 億 6,600 万コロンビア・ペソ（約 1,300 万円） ・機関会員会費 8,100 万コロンビア・ペソ（約 230 万円） ※1 コロンビア・ペソ=0.0287 円（2023 年 1-7 月平均）
年間支出	2022 年（執行実績） 総支出 11 億 2,100 万コロンビア・ペソ（約 3,500 万円） 主な内訳 ・人件費 2 億 6,700 万コロンビア・ペソ（約 850 万円） ・学術活動費 1 億 4,300 万コロンビア・ペソ（約 450 万円） ・第三者とのプロジェクト経費 2 億 4,300 万コロンビア・ペソ（約 780 万円） ※1 コロンビア・ペソ=0.0321 円（2022 年平均）

5. 事業計画・外部評価

業務計画	公開情報なし
外部評価	公開情報なし

コスタリカ科学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1992年
組織形態	非国家公益法人
カバーする学問分野	会員の専門から自然科学とみられるが、規定なし。
会員の資質	科学の発展に大きく貢献したコスタリカ国籍を有する科学者。
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	規定なし
会員数	正会員 47名 連携会員 5名 名誉会員 15名 規定により定めるその他のカテゴリー会員 人数不明 (2023年8月時点)
アカデミーの機能	政府への科学的助言、研究開発の促進、科学技術の普及、国際協力・交流、人材育成、科学遺産の保護、顕彰、出版
組織体制(意思決定機関の構造)	<ul style="list-style-type: none"> ・総会：アカデミーの最高意思決定機関。正会員、連携会員、名誉会員で構成。少なくとも年2回開催され、理事会メンバー及び新規会員の選出、年次報告書の承認、規約の改定等を行う。 ・理事会：アカデミーの執行機関。会長、副会長、事務局長、財務担当、3名の会員で構成。少なくとも2カ月に1回開催。
事務局体制	事務局長、事務補助、ネットワークコーディネーターで構成。

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし
会員選出後の手続き	規定なし
会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・コ・オプテーション方式 ・少なくとも3名の会員によって推薦。 ・総会において、無記名投票により、少なくとも3分の2の得票によって承認される。

会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	規定なし
------------------------	------

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	法第2条にアカデミーの目的として「コスタリカ政府に科学技術について助言する」「その権限のある分野において法案や政令を提案する」と規定されている。
科学的助言の実績	2020年 1件

4. 財政

年間収入	2021年 総額 9,400万コスタリカコロン（約2,500万円） うち科学・技術・通信省からの補助金 6,800万コスタリカコロン（約1,800万円） ※1コスタリカコロン=0.27円（2022年平均）
年間支出	2021年 総額（支払利息除く）8,400万コスタリカコロン（約2,300万円） うち人件費 5,500万コスタリカコロン（約1,500万円） ※1コスタリカコロン=0.27円（2022年平均）

5. 事業計画・外部評価

業務計画	公開情報なし
外部評価	外部会計監査を毎年受ける。

デンマーク王立科学・文学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1742年（クリスチャン4世による承認）
組織形態	国王の後援を受けた非政府組織
カバーする学問分野	人文科学、社会科学、自然科学
会員の資質	基礎科学の研究に顕著な貢献、または学際的な理解に貢献、もしくは重要な科学的評価に貢献した研究者・科学者
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	会長は報酬あり。シェラン島（コペンハーゲンがある）以外に居住する会員には会議手当が支払われる。
会員数	普通会員（永住権を持つ外国人を含む） 連携会員（外国人） 国内約 250 名、海外約 250 名 ※2021 年には人文科学部門で 6 名の会員、3 名の外国人会員を選出。2022 年には自然科学部門で 9 名の会員、6 名の外国人会員を選出。
アカデミーの機能	基礎科学研究の促進、顕彰、グラントの配分、科学的助言、出版
組織体制（意思決定機関の構造）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幹部会（Presidium）：会長、事務局、各部門の議長、人文社会科学部門から幹事・代表者 2 名、自然科学部門から幹事・代表者 2 名で構成。 ・ 総会：年次大会として春季に開催。年次報告、会計報告、予算の承認、アカデミーの役員選出等を行う。
事務局体制	事務局長以下 16 名（2023 年 7 月時点）

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし
会員選出後の手続き	会員候補者が選挙を受け入れ、会員として職務を果たすことを書面で誓約後、公表。
会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・ コ・オプテーション方式 ・ 人文社会科学部門と自然科学部門で 1 年ごとに新会員を選出。 ・ 会員は、自分の所属する部門に新会員を推薦することができる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・部門で採択された提案は、部門長が次の総会時に公表する。 1つの部門の提案は、別の部門の投票権を持つ会員に伝達される。 ・部門から選出された新提案は、総会で投票にかけられ、単純過半数で選出される。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	規定なし

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	アカデミー規約第 23 条に「アカデミーは公的機関や組織の求めに応じて、または自らのイニシアチブで助言することができる」と規定されている。
科学的助言の実績	公開情報なし

4. 財政

年間収入	公開情報なし
年間支出	公開情報なし

5. 事業計画・外部評価

業務計画	公開情報なし
外部評価	公開情報なし

エストニア科学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1938 年
組織形態	公益法人 (Legal person in public law)
カバーする学問分野	天文学、物理学、情報学、工学、生物学、地質学、化学、人文科学、社会科学
会員の資質	エストニア国籍を有し、その分野における研究を大きく発展させた研究者、及びエストニアの知的文化に大きく貢献した著名な文学者、芸術家。
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	終身報酬あり (額は総会で決定)
会員数	<p>会員：最大 60 名まで、75 歳以上の会員は人数に含まない。 外国人会員：総会で人数を決定。</p> <p>2023 年 8 月時点の会員数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天文学・物理学部門：会員 16 名、外国人会員 4 名 ・情報学・工学部門：会員 15 名、外国人会員 5 名 ・生物学・地質学・化学部門：会員 24 名、外国人会員 5 名 ・人文科学・社会科学：会員 20 名、外国人会員 5 名
アカデミーの機能	研究促進、国際学術協力、出版、若手研究者の教育支援、学術会合の開催、研究資金の提供、議会・政府、公的機関への助言、知識啓発、顕彰
組織体制 (意思決定機関の構造)	<ul style="list-style-type: none"> ・総会：最高意思決定機関。アカデミー法の改訂、アカデミーの活動に関する文書の承認、アカデミーの機関の設置の決定、会員・外国人会員の選出、会長・副会長・事務局長の選出、年次報告書の承認、予算の承認、議会及び政府に提供する意見の形成等。 ・幹部会：会長、副会長、事務局長、部門の長、会員から総会で選出された会員で構成。総会決議の履行、研究助成、奨学金の配分決定等。
事務局体制	145 名 (2023 年 5 月時点)

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし
会員選出後の	・新会員の指名は、選挙後 2 週間以内に全国紙及びアカデミ

手続き	一のホームページ（HP）に掲載。
会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・コ・オペレーション方式 ・空席がある場合に限り、少なくとも3年に1回実施。 ・エストニア研究機関、学术界、芸術団体が候補者を推薦できる。 ・幹部会が候補者の書類審査を行い、候補者の登録を行う。 ・登録された候補者の名前は、選挙の31日前までに少なくとも1つの全国紙及びアカデミーのHPに掲載。 ・候補者に関する全ての資料は、アカデミーの会員に提供されHPに公表される。 ・候補者の全ての資料が学術部門で審査される。学術部門の意見は選挙の前に総会に伝達される。 ・総会において、秘密投票により選出される。 ・投票に参加した会員の3分の2以上かつアカデミー会員総数の半数以上の賛成票で選出される。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	新会員の推薦は、会員のほか、エストニア研究機関、学术界、芸術団体も可能。

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	エストニア科学アカデミー法第2条第8項に「エストニア議会、エストニア政府、政府機関と協議し、それらに対し助言を行う」と規定されている。
科学的助言の実績	出版物は多いものの、どれが科学的助言に当たるかは不明。

4. 財政

年間収入	<ul style="list-style-type: none"> ・アカデミーの活動は国家予算及びその他のリソースから賄われる（法第20条第1項）。 ・2022年 2,553,323 ユーロ：3億5,246万円 うち国家予算から1,974,370 ユーロ：2億7,254万2千円 ※1ユーロ=138.04円（2022年平均）
年間支出	<ul style="list-style-type: none"> 2022年 240万ユーロ（約3億3,000万円） うちアカデミーの主な活動130万ユーロ（約1億8,000万円） ※1ユーロ=138.04円（2022年平均）

5. 事業計画・外部評価

業務計画	「エストニア科学アカデミー Development Plan 2021-2026」を作成。
外部評価	国家予算が割り当てられた部分は財務省によって監査を受ける。会計検査院は検査院法に基づきアカデミーの活動を検査する。

フィンランド科学・文学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1908 年
組織形態	民間団体
カバーする学問分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人文部門（神学・宗教学、哲学、美学・美術研究、心理学・教育学、歴史・考古学、フィンランド語・ウラル語研究、言語学、法学、社会科学） ・ 科学部門（数学・コンピューターサイエンス、物理・天文学、地球科学、化学、生物科学、農学・林学、医学）
会員の資質	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自身の研究領域において卓越していること ・ フィンランド人もしくはフィンランドに居住していること（普通会员）
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	年会費なし
会員数	普通会员 825 名（2023 年 7 月） 外国人会員 168 名（2023 年 3 月） 名誉会員 7 名（2023 年 6 月）（著しく優れた研究者または科学の擁護者）
アカデミーの機能	顕彰、研究助成、科学的助言、出版
組織体制（意思決定機関の構造）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会（Governing Board）：会長、副会長、財務担当理事、各部門の幹事、4 名の他の会員の 9 名で構成。アカデミーの業務管理、資産管理、補助金・奨学金の決定を行う。 ・ 総会：春と秋に法定総会を開催。春季大会（4 月）では、年次報告、会計報告、監査報告がなされる。秋季大会（10 月または 11 月）では、アカデミー役員の選出、翌年の予算及び活動計画の承認が行われる。
事務局体制	事務局長 1 名 管理部門 3 名 コミュニケーション部門 2 名 科学と政策部門 5 名 フィンランドの科学史部門 1 名

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし
---------	------

会員選出後の手続き	規定なし
会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・新会員の選出に当たり、各部門は8名の会員からなる「選考委員会」(Selection Committee)を設置。委員会はアカデミーの秋会合で推薦され、任期は4年。毎年2名ずつ交代する。 ・候補者は少なくとも2名の普通会员もしくは名誉会員によって書面で推薦されなければならない。 ・各部門の選考委員会は、アカデミーの春会合の少なくとも2週間前に開催される部門会議の前に、部門に割り当てられた新会員の数に鑑み、会員からの提案を考慮して候補者を推薦する。 ・新会員の推薦は、関係する部門の会議における出席者の3分の2以上の承認、その後、アカデミーの春会合における出席者の3分の2以上の支持を必要とする。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	規定なし

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	規定第1条第2項に「社会における現在の問題について見解を提示する」、「幅広い網羅的な既存の研究及び著名な専門家との協議に基づき、専門家による助言を行う」と規定されている。
科学的助言の実績	2019年～2021年に、教育・科学省の補助金を得て、Sofiプロジェクト(フィンランドの科学的助言イニシアチブ)をフィンランドの4つのアカデミー(フィンランド科学・文学アカデミー、フィンランド科学・文学ソサイエティ、フィンランド技術アカデミー、スウェーデン工学科学アカデミー)で推進。「昨日、今日、明日の科学と政策決定の相互作用」の公表などを行う。

4. 財政

年間収入	公開情報なし
年間支出	<p>総額は不明。</p> <p>2022年は約250万ユーロ(約3.4億円)の研究助成金を提供。賞として1.5万ユーロ(約200万円)を授与。</p>

	※1ユーロ=138.0円(2022年平均)
--	-----------------------

5. 事業計画・外部評価

業務計画	公開情報なし
外部評価	会計監査官、副会計監査官による会計監査を毎年実施。

アテネアカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1926年
組織形態	独自の法人格と独自の財産及び権能を有する独立した法人 (教会・公教育省を通じ、政府と関連)
カバーする学 問分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 科学 (数学、物理学、化学、医学、天文学) ・ 文学・美術 (散文・詩、音楽、造形芸術、文学、考古学、歴史) ・ 倫理・政治学 (神学、哲学、法学、政治学、経済学)
会員の資質	科学、人文科学、美術の分野で重要な業績を残したギリシャ人。
会員は終身/任 期	終身
年会費/会員報 酬	規定なし
会員数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定員は、普通会员 65 名 (うち科学部門 25 名、文学・美術部門 25 名、倫理・政治学部門 15 名)、連携会員 250 名、外国人会員 40 名、名誉会員 (規定なし)。 ・ 2023 年 6 月時点では、普通会员 48 名、連携会員 139 名、外国人会員 29 名、名誉会員 4 名。
アカデミーの 機能	学術の促進、研究、政府・公的部門への科学的助言、顕彰、奨学金、出版
組織体制 (意思 決定機関の構 造)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総会 ・ 幹部会 (会長、副会長、事務局長、官房長、広報長) ・ 部門別幹部会 (会長、副会長、部門の官房長) ・ 評議会 (会長、副会長、事務局長、官房長、広報長、前期の会長、各部門長)
事務局体制	事務局長の下に、総務局、財務局、遺贈管理局、不動産局、図書館局、渉外・儀典・イベント局、技術サービス局、出版部、ネットワーク運営センターが設置されている。

2. 会員選考

会員の任命権 者	規定なし。過去 (1926 年) に大統領、教育大臣が任命した事例がある。
会員選出後の 手続き	規定なし
会員選考	新会員は、部門ごとにその普通会员によって選出される。

会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	規定なし
------------------------	------

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	憲章第1条にアカデミーの目的として、「アカデミーの見解、提言、決定、判断を提供することにより、政府及び他の公的機関の関係する業務や官民セクターのニーズを啓発し、指針を与える」と規定されている。
科学的助言の実績	最近の事例は公表されていない。

4. 財政

年間収入	公開情報なし。アカデミーのスポンサーとして、欧州委員会、ギリシャ農業省、雇用省、社会サービス省、地方自治体、中央銀行、民間銀行、民間企業等がある。
年間支出	公開情報なし

5. 事業計画・外部評価

業務計画	公開情報なし
外部評価	公開情報なし

ハンガリー科学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1825 年
組織形態	独立した公法法人 (independent public-law association)
カバーする学問分野	言語学、文学、哲学、歴史学、数学、農学、医学、工学、化学、生物学、経済学、法学、地球科学、物理学
会員の資質	<ul style="list-style-type: none"> ・正会員：ハンガリー人の連携会員で、連携会員の会員資格を獲得後、重要な科学的業績をあげた者。 ・連携会員：ハンガリー人で、「アカデミーの博士」もしくは同等の資格を持ち、自身の専門の科学分野において、広く認知され、非常に高い創造的なレベルを修めた者。
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	国内アカデミー会員に報酬あり（会員が死去するまで。会員が死去した後も一定額は家族の生計維持のために支払われる）。
会員数	<ul style="list-style-type: none"> ・70 歳以下の国内アカデミー会員は 200 名、国内アカデミー会員総数は 365 名を超えてはならないと規定されている。 ・2023 年 7 月時点では、正会員 278 名、連携会員 69 名、外部会員 187 名、名誉会員 192 名。 ・この他、科学の学位をハンガリーで得た（もしくは帰化した）者で、アカデミーの科学部会のメンバーとなる意思を持つ者から、科学部会が申請を承認する非アカデミー会員がある。
アカデミーの機能	科学的助言、資格付与、奨学金付与、ハンガリー語の普及、出版
組織体制（意思決定機関の構造）	<ul style="list-style-type: none"> ・幹部会：会長、副会長 3 名、事務局長、副事務局長、各部会長、総会で選出された会員 3 名、総会で選出された非会員、地域委員会の議長で構成。 ・運営委員会：会長、数学と自然科学・生命科学・社会科学部門の代表者、会長室の長、事務局長室の長で構成。 ・総会：国内アカデミー会員と 200 名までの非アカデミー会員の代表で構成。
事務局体制	事務局長、副事務局長、会長室、事務局長・副事務局長室、財務局、公益団体局、博士評議会事務局、コミュニケーション局、法務・行政局、管理局、情報テクノロジー局、人事局、国際局

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし（ハンガリー大統領が会長の地位を承認する）
会員選出後の手続き	会員選出から1年以内に就任講演を行わなければならない。
会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年ごとに新会員を選出。 ・ コ・オプテーション方式 ・ 会員の推薦は部会ごとに行う。候補者は、国内の会員から十分な推薦を得た者（必要な数は最高幹部会で決定）。 ・ 部門の国内会員は、推薦された者の順位付けを秘密投票で行う。投票の結果、半数以上の票を得た者がアカデミー全体の候補者リストに掲載される。 ・ アカデミー全体の候補者リストを作成する際に、最高幹部会は部会ごとの最大選出人数を指定する。最高幹部会はアカデミー全体の候補者リストを会員総会に提出する。 ・ 会員総会が新会員を決定する。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	規定なし

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	ハンガリー科学アカデミー法セクション3のe)に「国会や政府から依頼され、その能力の範囲内において、主に科学、教育、環境、経済に関する課題について科学的な判断を述べる」と規定されている。
科学的助言の実績	2022年 3件程度

4. 財政

年間収入	公開情報は存在するが、ハンガリー語のため取りまとめ困難。
年間支出	同上

5. 事業計画・外部評価

業務計画	公開情報なし
外部評価	事務局は国家監査局の監査を受けている。

アイルランド王立アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1785 年
組織形態	登録された慈善団体
カバーする学問分野	人文科学、社会科学、自然科学
会員の資質	<ul style="list-style-type: none"> ・独創性と学識を備えていることを表す重要なエビデンスを示す研究成果（出版物及びその他）があること。出版物または研究成果の少なくとも一部は、アイルランド国外で国際的な学術的関心を集めている必要がある。 ・その学術的立場、研究の影響力、学術分野への貢献を反映するその他の研究業績があること。
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	年会費あり（名誉会員はなし） 2020 年の年会費及び入会費の総額は 6.6 万ユーロ（約 800 万円）。※ 1 ユーロ＝121.81 円（2020 年平均）
会員数	606 名（名誉会員 87 名を含む）（2023 年 8 月時点）
アカデミーの機能	研究プログラムの実施、顕彰、科学的助言、出版、研究資金の助成
組織体制（意思決定機関の構造）	<ul style="list-style-type: none"> ・評議会（Council）：アカデミーの運営と戦略的方向性に責任を持つ。会長、21 名の会員（自然科学部門から 11 名、人文・社会科学部門から 10 名）で構成。 ・幹部委員会（Executive Committee）：アカデミーの日常的マネジメントを行う。会長、上級副会長、財務担当理事、幹事、科学委員会幹事、純文学・古代遺物委員会幹事、政策・国際委員会幹事、事務局長、事務局の代表者で構成 ・アカデミックボード：科学委員会幹事、政策・国際委員会幹事、幹事、各学際委員会の議長または代表者で構成。 ・総会（General Meeting）：開催日が固定されている総会（3 月 16 日、11 月 30 日）、通常総会、個別総会があり、毎年 3 月 16 日の総会で新規会員の選挙等を行う。
事務局体制	71 名（うち博士号取得者 2 名）（2023 年 6 月時点）

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし
---------	------

会員選出後の手続き	選出後に初めて開催される総会において、新会員は会員の前で定められた宣誓と署名を行う。
会員選考	<p>会員の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年 20 名までを新会員として選出 ・ コ・オプテーション方式 ・ 会員候補の推薦には最低 2 名のアカデミー会員の署名が必要（2 名は提案者（Proposer）と賛成者（Secunder）となる）。提案者と賛成者は別々の機関に所属していることが必要。候補者の推薦は 9 月末までに行う。 ・ 候補者は、会員候補を審査する諮問委員会 ACACM (Advisory Committee on the Assessment of Candidates for Membership) で審査される。 ・ 2 月の第 3 月曜日の理事会において、総会に推薦する候補者リストを作成。 ・ 毎年 3 月 16 日の総会において、会員による選挙で新会員が選出される（20 名まで。自然科学部門、人文・社会科学部門それぞれ 10 名まで）。 <p>名誉会員の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会が推薦し、11 月 30 日の総会における選挙で選出される。名誉会員の人数は、自然科学部門、人文・社会科学部門それぞれ 50 名まで。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	会員候補を審査する諮問委員会 ACACM には、国際的な視点から独立した外部の審査員が含まれる。

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	規定なし
科学的助言の実績	2022 年 2 件（11 月 高等教育・研究・科学省からの諮問に対する回答、学術の自由に関するステートメント）

4. 財政

年間収入	2020 年 710 万ユーロ（約 8.6 億円） うち高等教育庁からのグラント 395 万ユーロ（約 4.8 億円） ※ 1 ユーロ = 121.81 円（2020 年平均）
年間支出	2020 年 651 万ユーロ（約 7.9 億円） うち人件費 545 万ユーロ（約 6.6 億円）

	※ 1 ユーロ = 121.81 円 (2020 年平均)
--	-------------------------------

5. 事業計画・外部評価

業務計画	戦略計画 2019-2023 を策定。
外部評価	会計監査・リスク委員会が監査を行う。委員会は最高 6 名で構成され、うち最低 1 名はアカデミー会員以外の財務に精通した者。

イスラエル科学・人文アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1961年
組織形態	文化、教育、科学の事項に関し、公的性格をもつ、法人格を有する機関
カバーする学問分野	<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学：生物学、工学、化学、数学、物理学、医学 ・人文科学：考古学、言語学、ユダヤ史学、ヘブライ語学、古代近東学、経済学、古典学、宗教学、政治学、ユダヤ思想学、聖書学、法学、文学、統計学、心理学、哲学、その他
会員の資質	イスラエルに居住する著名な学者及び科学者（主たる居住地がイスラエルにあり、選出時に研究活動がイスラエルの科学界の範囲内にある者）
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	規定なし
会員数	<p>149名（2023年6月時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学術部門の会員数は40名を超えてはならない。ただし、75歳以上の会員及び非居住会員（外国人会員）はカウントしない。 ・外国人会員（外国に居住する著名な学者及び科学者）は、外国人会員ではない会員数の10%を超えてはならない。いずれの年も、各学術部門が選出できる外国人会員は多くとも2名。
アカデミーの機能	科学的助言、顕彰、出版
組織体制（意思決定機関の構造）	<ul style="list-style-type: none"> ・総会：少なくとも毎年2回召集され、1回は新会員及び会長、副会長の選出、1回は年次報告書、監査委員会報告書、財務報告書、予算の審議を行う。 ・評議会：会長、副会長、前会長、人文科学部門の議長、自然科学部門の議長、事務局長で構成。アカデミーの事務を処理する。
事務局体制	<p>33名</p> <p>（事務局長1名、会長室1名、財務・管理部門4名、自然科学部門2名（うち博士号保有者1名）、人文科学部門3名（うち博士号保有者1名）、国際部門2名（うち博士号保有者1名）、広報部門2名、特別プロジェクト3名、若手アカ</p>

	デミー部門1名、出版部門6名（うち博士号保有者1名）、メンテナンス・購買部門6名、コンピュータ部門1名、アーカイブ部門1名（2023年7月時点）
--	--

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし（会長はアカデミーの推薦に基づき大統領が任命）
会員選出後の手続き	会長は同意を得た上で、新会員の選出を公表する。
会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・各学術部門の会員数が40名を超えない場合、毎年5名まで会員を選出できる。 ・候補者は、少なくとも3名の会員によって、各学術部門の長に提案する。 ・提案された候補者リストから、秘密投票で出席者の3分の2以上の得票をもって、当該学術部門として推薦する会員を決定する。 ・アカデミーの評議会が6名の会員（各学術部門から3名ずつの代表者）からなる委員会を任命し、学術部門から提案される候補に加えて候補者を提案する。 ・評議会は、秘密投票による出席者の全会一致をもって、総会の最終投票に付す候補者を選定する。 ・総会（定足数は半分以上）において、秘密投票で出席者の3分の2以上の得票をもって新会員が選出される。 ・外国人会員の選考方法も、上記手続きに準じる。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	規定なし

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	イスラエルアカデミー法第2条第2項に「国家に重要な研究及び科学計画に関連する活動について政府に助言する」と規定されている。
科学的助言の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・3年に1度、イスラエル政府及び議会に対し、他国と比較したイスラエルの科学の状況の概要の提出が義務付けられている。直近のレポートは2022年に提出。 ・上記以外のレポートは、2020年は3件、2021年は4件。

4. 財政

年間収入	2022-2023 年度予算 3,870 万シェケル (約 15 億円) ※ 1 シェケル=38.52 円 (2023 年 7 月 31 日時点)
年間支出	同上

5. 事業計画・外部評価

業務計画	公開情報なし
外部評価	必要に応じて、アカデミーの評議会は、アカデミーと雇用関係にない者をアカデミーの監査のために招くものとする。

ラトビア科学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1815年にクルゼメ文学芸術協会として発足。「ラトビア科学アカデミー」としては1946年に発足、1992年に欧州スタイルの科学アカデミーに変更。
組織形態	独立した能力を持つ、公法上の法人
カバーする学問分野	<ul style="list-style-type: none"> ・物理学・工学部門（天文学、コンピューターサイエンス、機械工学、数学、物理学、電力工学） ・化学・生物学・医学部門（農学、生物学、化学、生態学、環境科学、材料科学、医学、薬学） ・人文科学・社会科学部門（考古学、芸術学、経済学、ジャーナリズム、民俗学、歴史学、文化史、法学、言語学、文学、教育学、哲学、政治学、心理学、社会学、神学） ・農林科学部門（農学・加工技術、林業科学・木材技術、経済学）
会員の資質	卓越した業績が国内外で認識されていること
会員は終身/任期	終身（70歳を超えても投票権あり）
年会費/会員報酬	アカデミーの依頼する業務を行った際には所定の報酬を得る。
会員数	正会員：141名（70歳未満は100名以下） 名誉会員：46名（60歳未満） 外国人会員：93名（100名未満） 準会員：139名（うち70歳未満は100名以下） （2023年3月時点）
アカデミーの機能	ラトビア政府と議会に科学的助言、政府の研究プログラムへの参加、顕彰、科学及び科学者の独立と民主主義原則の擁護、新世代の研究者の科学への関与と引退した科学者の社会的保護への配慮、出版、啓発、国際交流等。
組織体制（意思決定機関の構造）	<ul style="list-style-type: none"> ・総会：アカデミーの最高意思決定機関。全ての会員が参加。70歳未満の正会員と準会員には出席義務がある。毎年春（4月）と秋（11月）に開催される。 ・評議会：会長、副会長3名、事務局長、4つの学術部門長、アカデミー基金議長、総会で選出された会員で構成。アカデミーのマネジメントとアカデミー憲章、規則、総会決議の解釈等を行う。 ・幹部会：会長、副会長3名、事務局長、国際担当理事、各学術部門長、評議会の議長、評議会メンバー1名で構成。

	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会：事務局長、正会員2名、アカデミー基金議長、国際担当理事で構成。 ・監督評議会：議長、正会員4名、準会員1名で構成。総会で選出される。
事務局体制	事務局長、物理学・工学部門、化学・生物学・医学部門、人文科学・社会科学部門、農林科学部門、国際局

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし
会員選出後の手続き	<ul style="list-style-type: none"> ・新会員に関する情報は新聞等に掲載される。 ・新会員には、式典において会長から会員証書を授与。
会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・コ・オペレーション方式 ・4月にアカデミー評議会が空席を発表。 ・4月末までに、事務局長がアカデミー会員、科学機関、大学、その他高等教育機関、科学学会やその他科学者の団体に空席を通知。 ・6月15日までに、会員、科学機関、大学、その他高等教育機関、科学学会やその他科学者の団体が候補者を推薦。 ・評議会は会員候補を登録。 ・各部門が登録された候補者を審査。 ・評議会が候補者名簿を作成。 ・総会（通常11月）における選挙において、正会員の過半数以上の賛成により新会員を選出。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	規定なし

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	憲章第4条に「ラトビアの科学政策の発展に積極的に参加し、科学の事項に関し、政府及び議会に迅速に助言する」と規定されている。
科学的助言の実績	公開情報なし

4. 財政

年間収入	・国家予算からの助成
------	------------

	2022年 105万ユーロ（約1.4億円） ・主な運営資金は国家予算から助成される。 ・この他に企業との契約業務、資産運用、寄贈等がある。 ※1ユーロ=138.04円（2022年平均）
年間支出	公開情報なし

5. 事業計画・外部評価

業務計画	運営戦略 2021-2027 を作成。
外部評価	公開情報なし

リトアニア科学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1941 年
組織形態	国家予算機関 (State Budgetary Institution) アカデミーはリトアニア議会に属しており、毎年議会で活動報告を行う。
カバーする学問分野	人文科学、社会科学、数学、物理学、化学、生物学、医学、地球科学、農学、森林学、技術科学
会員の資質	<ul style="list-style-type: none"> ・ リトアニアの科学者で、高水準の価値ある業績によって科学・文化を豊かにした者が正会員になることができる。 ・ 例外的に、卓越した芸術家も正会員になることができる。 ・ 高名な外国人科学者で、リトアニアに関連する学術業績がある者は外国人会員になることができる。
会員は終身/任期	終身 (75 歳以上は名誉会員)
年会費/会員報酬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 65 歳以上の正会員及び名誉会員で、アカデミーと雇用契約にない者は国家予算から月額報酬を支払う。 ・ 会長、副会長、事務局長には報酬あり。
会員数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正会員：115 名 (75 歳未満、120 名を超えてはならない) ・ 名誉会員：58 名 (会員が 75 歳になると名誉会員になる人数制限なし) ・ 外国人会員：62 名 (人数制限なし) (2023 年 6 月時点)
アカデミーの機能	研究の促進及び発展、学問の自由の促進、政府及び議会から委託された研究の実施及び科学的助言の提供、海外のアカデミーとの協力、研究成果等の発信・出版、顕彰、国内外における会議・シンポジウム等の開催、若手研究者の支援、産業界・企業との協力。
組織体制 (意思決定機関の構造)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総会：アカデミーの最高意思決定機関。正会員及び名誉会員で構成。少なくとも年に 2 回開催。 ・ 幹部会：アカデミーの活動を指導する。会長、副会長、事務局長、科学部門長、その他の会員で構成。人数は総会で決定。
事務局体制	管理部門：組織部局、出版部局、「科学宮殿」管理部局、会計・財務部局、総務部局

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし
会員選出後の手続き	規定なし
会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・コ・オペレーション方式 ・正会員の空席は、幹部会によって割り当てられ、総会が承認する。空席と正会員候補の要件に関する情報は、選挙の少なくとも3カ月前にリトアニアのメディア及びアカデミーHPで公表される。 ・正会員及び名誉会員は、空席の通知から1カ月以内に、要件に示された専門にしたがって候補者を推薦する権利を持つ。高等教育・研究機関の評議会、研究協議会、科学者の団体も候補者を推薦できる。 ・推薦、登録された候補者は、選挙の少なくとも1カ月前にリトアニアのメディア及びアカデミーのHPで公開される。 ・各部門は、登録された候補者の科学的活動について、専門的な考察と公開討論を行う。公開討論の結論は、部門の総会で正会員候補を選出する際、及びアカデミーの総会で正会員を選出する際に提示されなければならない。 ・アカデミーの総会で、部門が選出した候補者の中から、正会員を選出する。正会員が投票権を持つ。正会員の3分の2の参加が必要。総会に参加した正会員による秘密投票が行われ、過半数の票の獲得により選出される。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	高等教育・研究機関の評議会、研究協議会、科学者の団体も候補者を推薦できる。

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・憲章第35条に、アカデミー総会の責務として「リトアニアにおける教育、文化、研究、実験（社会的、文化的）及び経済発展に関連する問題を検討し、議会、政府及びその他の公的機関に提案を提出する」と規定されている。 ・更に、憲章第57条に「科学アカデミーは、その使命と戦略的目標を果たすにあたり、アカデミー会員の能力を活用し、リトアニア議会、政府、その他公的機関に対して、専門的評価、提言を行う」と規定されている。
------------	--

科学的助言の実績	件数は不明。2023年6月に人工知能について、アカデミーにおいて、リトアニア議会の未来委員会が開催された。
----------	---

4. 財政

年間収入	2022年 126万6,000ユーロ（約1億7,476万円） 主な収入源は、国家予算、EU構造基金、国内外の機関・基金からの寄付等。 ※1ユーロ=138.04円（2022年平均）
年間支出	2022年 126万6,000ユーロ（約1億7,476万円） うち賃金・社会保険 88万ユーロ（約1億2,148万円） 財・サービスのコスト 14万900ユーロ（約2,057万円） ※1ユーロ=138.04円（2022年平均）

5. 事業計画・外部評価

業務計画	公開情報なし
外部評価	<ul style="list-style-type: none"> ・会計法にしたがって財務諸表及び予算の実施に関する報告書を作成、提出。 ・毎年暦年の終わりから4カ月以内に、活動報告を議会に提出し、科学界及び一般の人々に公表。

メキシコ科学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1959 年
組織形態	独立した非営利の民間団体
カバーする学問分野	精密科学（天文学、物理学、工学、数学、化学、地球科学）、自然科学（農業科学、生物学、医学）、社会科学、人文科学
会員の資質	普通会員 (Miembros Regulares) 通常メキシコで勤務・研究活動し、自身の専門分野で認められた業績（過去3年間に国際的な学術雑誌への掲載など）のある研究者。
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	・年会費：1,500 メキシコ・ペソ（約9,810 円） ※1 メキシコ・ペソ=6.54 円（2022 年平均） ・会員報酬：なし（役務の提供に対する対価としての報酬はあり得る）
会員数	・会員 (Miembros de la Academia Mexicana de Ciencias)：3,046 名（2022 年時点） ※会員種類を問わない全会員数であるかは明示なし。 ・連携会員 (Miembros Correspondientes、メキシコの研究発展に貢献したメキシコに居住していない研究者)：117 名 ※上記「会員」の内訳か否かは明示なし。 ・称号会員 (Miembros Titulares、アカデミー入会10年経過後も、国家の科学の発展に積極的に貢献し、その功績が認められた者)：47 名（2023 年4月時点） ※上記「会員」の内訳か否かは明示なし。 ・名誉会員 (Miembros Honorarios、アカデミーに対し卓越した奉仕活動を行った会員。科学分野で顕著な貢献をした会員) ・機関会員 (Miembros Institucionales)
アカデミーの機能	科学研究の推進・普及、政府機関との連携、研究者の交流、顕彰、出版、奨励金の提供
組織体制（意思決定機関の構造）	・総会：アカデミーの最高機関。通常総会と臨時総会がある。通常総会は年1回開催。前年度の活動報告及び次年度の活動計画を審議。臨時総会では、理事会メンバー及び新規会員の選出等が行われる。理事会メンバーの過半数またはアカデミー会員10名の要請により召集。総会の定足数は最

	<p>低 10 名。決議は出席会員の多数決による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会：アカデミーの執行機関。少なくとも年 1 回、活動について報告する義務を負う。会長、副会長、2 名の幹事（1 名は次期会長、1 名は投票により選出）、会計責任者（任期 3 年）、各地域支部の理事長で構成。 ・副会長、幹事、会計責任者は、10 名の会員（少なくともうち 5 名は称号会員の推薦を受けた候補者）の中から、全会員の投票（投票用紙の送付）によって、臨時総会で選出される。 ・歴代会長諮問委員会：歴代の元会長で構成。理事会に対し、助言やアカデミーの関心事項について提案を行う。
事務局体制	公開情報なし

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし
会員選出後の手続き	規定なし
会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・コ・オプテーション方式 ・アカデミーの会員（理事会及び会員委員会のメンバーは除く）が新会員を推薦。 ・候補者はアカデミーの全ての会員に通知され、会員は 15 日以内に異議を述べることができる。 ・候補者が正式に推薦された後、会員委員会に書面で通知される。会員委員会は 3 か月以内にその見解を理事会に提示する。 ・候補者が会員委員会により承認された場合、副会長から関係者に通知される。 ・臨時総会における投票により、新会員が選出される。 <p>※会員委員会（副会長と選挙で選出される 10 名の会員（任期は 4 年、2 年毎に半数を改選）で構成）は、会員候補者の審査、会員の身分に係る手続（推薦、資格確認、登録抹消）を行うアカデミーの機関。</p>
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	規定なし

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	アカデミー規約第4条に「科学界と教育・科学・文化を所管する政府機関との間のコミュニケーションを奨励する」と規定されている。
科学的助言の実績	出版物はあるものの、科学的助言に当たるかは不明。

4. 財政

年間収入	公開情報なし
年間支出	公開情報なし

5. 事業計画・外部評価

業務計画	公開情報なし
外部評価	公開情報なし

オランダ王立芸術・科学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1808 年
組織形態	公益法人とみられる。学術団体であると同時に国立研究機関の組織でもある。(オランダ高等教育・研究法には「法人格を持つ」と規定されている。国王はアカデミーの後援者。)
カバーする学問分野	医療・医療生物学及び健康科学、自然科学及び工学、人文科学、行動科学・社会学・法学
会員の資質	高い科学的業績に基づいて選ばれ、科学的に卓越していること。
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	規定なし
会員数	約 585 名 (2023 年 5 月時点) 普通会員 外国人会員
アカデミーの機能	政府に対する科学的助言、国立研究機関の管理・政策決定、出版、国際協力、顕彰
組織体制 (意思決定機関の構造)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会 (Board) : 会長、副会長 2 名、各学術部門の議長 4 名で構成。 ・ 総会 : アカデミーの会員で構成され、年次活動、年次会計の報告、管理・組織の規則の採択、理事会メンバーの選出を行う。
事務局体制	事務局長 13 の研究機関とアカデミー局に勤務するスタッフは約 1,300 名 (研究者と事務職の内訳は不明)

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし
会員選出後の手続き	規定なし
会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年最大 18 名、外国人会員 4 名の新会員を選挙により選出。 ・ 候補者を推薦できるのは以下の者。 <ul style="list-style-type: none"> －アカデミー会員 (3 者連名) は人数制限なく推薦可

	<ul style="list-style-type: none"> －オランダの国立大学の理事会は分野ごとに1名を推薦可。 －オランダ科学研究機構（NWO）の執行委員会は、NWO 所属の研究者を1名推薦可。 －アカデミーの事務局長は、アカデミー研究機関所属の研究者を1名推薦可。 －オランダ女性教授ネットワークの理事会は1名を推薦可。 －若手アカデミーの理事会は1名を推薦可。 ・候補者はアカデミーの分野別の4名の審査員及び技術分野の審査員1名の審査を受ける。この他に外部審査員（可能であれば外国の独立した審査員）の助言を受け、最終候補者リストを作成。 ・アカデミー理事会は、手続きの正確性をチェックし、候補者の科学的卓越性に加えて、分野の多様性と横断性、年齢、アカデミーへの助言や期待される関与の度合い等を考慮。 ・候補者のリストが4月に提示され、アカデミー会員による投票を実施。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	最終候補者リストを作成する際に、少なくとも3名の外部審査員（可能であれば、外国の独立した審査員）からの助言を得る。

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	オランダ高等教育・研究法で、「オランダ政府に対し、科学分野に関連する諸課題について助言する」と規定されている。
科学的助言の実績	2021年 5件 2022年 3件

4. 財政

年間収入	約 1.64 億ユーロ（約 213 億円）（2021 年度） うち政府補助金 約 9,600 万ユーロ（約 124 億円） その他の補助金 約 800 万ユーロ（約 10 億円） 第三者からの委託による収入 約 4,300 万ユーロ（約 56 億円） その他 約 1,800 万ユーロ（約 23 億円） ※ 1 ユーロ = 129.89 円（2021 年平均）
年間支出	約 1.56 億ユーロ（約 202 億円）（2021 年度）

	うち人件費 約 1.03 億ユーロ (約 133 億円) 減価償却費 約 1,600 万ユーロ (約 21 億円) 住居費 約 1,100 万ユーロ (約 14 億円) その他 約 2,600 万ユーロ (約 34 億円) ※ 1 ユーロ = 129.89 円 (2021 年平均)
--	---

5. 事業計画・外部評価

業務計画	法により 4 年ごとに作成することとされており、「Knowledge-based! Strategic Agenda for 2021-2025」を策定。
外部評価	会計外部監査を受けている。 監査委員会は、会員 4 名と外部委員 1 名で構成。

ノルウェー科学・文学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1857年
組織形態	非政府機関
カバーする学問分野	<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学（数学、物理学（天文学・地球物理学を含む）、地質学、化学、生物学、分子・細胞生物学、医学、技術） ・人文社会科学（歴史、文化・美学、哲学・心理学、文学、文献学・言語学、法学、社会科学（社会学、政治、経済を含む）宗教と神学の歴史）
会員の資質	科学的貢献
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	規定なし
会員数	<ul style="list-style-type: none"> ・ノルウェー人会員 542名（自然科学282名、人文社会科学260名） ・外国人会員 414名（同260名、154名） （2023年3月時点） ・名誉会員 最大10名まで ・2023年の新会員 自然科学：ノルウェー人会員4名、外国人会員2名 人文社会：ノルウェー人会員9名、外国人会員1名
アカデミーの機能	顕彰（カブリ賞含む）、科学的助言、出版
組織体制（意思決定機関の構造）	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会：会長、副会長2人、事務局長、自然科学部門部長・副部長・幹事、人文社会科学部門部長・副部長・幹事、追加のボードメンバー3名、ボードの副メンバー3名、スタッフの代表2名で構成。 ・総会：アカデミーの最高機関。会計報告、年次報告、アカデミーの役職選出を行う。
事務局体制	14名（2023年6月時点） 事務局長、管理部門、コミュニケーション部門、財務部門、学生団体

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし
会員選出後の	新会員は、通常5月3日に開催されるアカデミーの総会にお

手続き	いて、会員証書を受領。
会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員が死亡または 70 歳以上になると、新しく会員を選出（ただし、70 歳を超えた会員も提案権と投票権を持つ）。 ・ 自然科学部門では、70 歳未満のノルウェー人会員が 140 名、70 歳未満の外国人会員が 100 名まで、人文社会科学部門では 70 歳未満ノルウェー人会員が 120 名、70 歳未満の外国人会員が 60 名までとされている。 ・ コ・オプテーション方式 ・ 理事会が各部門で選出できる数を決定。 ・ 新会員の提案は、部門の少なくとも 3 名のメンバーが推薦。 ・ 選考は部門ごとに行い、各部門には少なくとも 4 名の会員からなる選考委員会（理事会が任命）が設置され、候補者を推薦。 ・ 総会における選挙により過半数を獲得した者が当選。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	規定なし

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	アカデミー規定に「重要な科学的問題について声明を発表する」、「政策当局や国民に対して科学の利益を守る」と規定されている。
科学的助言の実績	<p>科学諮問報告書を発出している。</p> <p>ヨーロッパのための科学的助言機関 (EASAC: Science Advice for the Benefit of Europe) の国際レポートを基に、ノルウェー科学・文学アカデミーのグループがノルウェーにとって特別に関連のあるものに焦点を当ててレポートの概要を作成。アカデミーでの会議・プレゼンを踏まえて、科学諮問報告書を作成。</p> <p>科学諮問報告書の発出：2021 年 1 件、2022 年 2 件 文部科学省への意見：2021 年 1 件、2022 年 1 件</p>

4. 財政

年間収入	2020 年 6,425 万ノルウェークローネ（約 7.3 億円） 1 ノルウェークローネ=11.4 円（2020 年平均）
年間支出	2020 年 5,634 万ノルウェークローネ（約 6.4 億円）

	1ノルウェークローネ=11.4 円 (2020 年平均)
--	------------------------------

5. 事業計画・外部評価

業務計画	ノルウェー科学・文学アカデミーの戦略 2021-2025 を策定。
外部評価	総会で監査人を指名。

ニュージーランド王立協会

1. アカデミーの組織等

設立年	1867年
組織形態	独立した非営利法定団体
カバーする学問分野	<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学・技術（応用科学、生物科学、地球科学、工学、情報科学、数学、医学、物理学、社会科学、技術科学を含む） ・人文科学（言語（特にマオリ語）、歴史、宗教、哲学、法律、古典、言語学、文学、文化研究、マオリ研究、メディア研究、美術史、映画、演劇を含む）
会員の資質	<p>フェロー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュージーランド国籍もしくは永住権を保持、少なくとも3年間ニュージーランドに居住、又は、毎年少なくとも6カ月間ニュージーランドに滞在する者。 ・研究または科学、技術、人文科学の進歩において卓越した功績を残したとアカデミー執行委員会が認めた者。 <p>コンパニオン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学、技術、人文科学において卓越した指導力を発揮した者。 ・ニュージーランドにおける科学、技術、人文科学の振興と発展に、卓越した、または持続的な貢献をした者。 <p>名誉フェロー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュージーランドに通常居住していないが、自然科学・技術、人文科学に顕著な貢献をしたとアカデミー執行委員会が認めた者。
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	<p>年会費あり（額は評議会が決定）。報酬なし。</p> <p>※名誉フェロー及び名誉会員は会費不要。</p>
会員数	<ul style="list-style-type: none"> ・フェロー 468名（2023年8月時点、存命ではないことが明らかな者、フェローに該当しなくなった者を除く） ・名誉フェロー 55名（2023年8月時点、存命ではないことが明らかな者を除く） ・コンパニオン 58名（2023年8月時点） <p>上記のほかに次の種類があり、個人会員と団体会員がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通会员（専門会員、準会員、学生会員の区別あり） ・構成団体（アカデミーの目的に賛同を表明し、当該団体の目的がアカデミーの目的と合致している場合に、評議会が構成団体であることを認める） ・地域構成団体（アカデミーの目的に賛同を表明し、地域単

	<p>位で当該団体を代表し、その目的がアカデミーの目的と合致している場合に、評議会が地域構成団体であることを認める)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力団体（評議会の裁量により、加盟を認められた団体） ・名誉会員（自然科学・技術、人文科学に対し、あるいはアカデミーに対し顕著な貢献をした者であると、評議会が認めた者に付与される資格）
アカデミーの機能	顕彰、科学的助言、グラント、出版
組織体制（意思決定機関の構造）	<ul style="list-style-type: none"> ・評議会：会長、次期会長及び評議員で構成。 ・会長：現会長の任期の最終年に、通常はフェローの中から次期会長を選出または指名する。任期は1年、連続する3期を超えない。 ・評議員：アカデミーの執行委員会が設ける選挙人団による選出、地域構成団体が設ける選挙人団による選出、各部門による選出、マオリ会員の選挙人団による選出、若手研究者の選挙人団による選出、コ・オプテーション方式による選出によりそれぞれ選ばれる。任期は3年、2期まで。 ・評議会：アカデミーのガバナンスを担う。財産を管理し、アカデミーのために、あるいはアカデミーの代理として行動する。 ・アカデミー執行委員会：議長、副議長、会長（フェローの場合）、学問領域別に選出された代表者（6名）、コ・オプテーション方式で選出されたフェロー（最大2名）で構成。各学問分野の卓越した業績を認め奨励し、アカデミーの知的な指導的役割に貢献する。新会員の推薦、選挙等に関する手続きを行う。年4回以上開催し、定足数は出席する資格がある委員の半数以上。各委員が1票の投票権を持つ。
事務局体制	<p>事務局長、研究費担当17名、アカデミー・運営担当7名、専門家助言・出版担当6名、対外関与担当8名、科学メディアセンター4名、テ・アパーランギ（Te Apārangi）担当1名（2023年時点）。</p> <p>（※）Te Apārangi はマオリ語で、協会の別名としても用いられている。</p>

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし
---------	------

<p>会員選出後の手続き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく選出されたフェロー及び名誉フェローの名前は、年次総会において報告される。 ・コンパニオンとなることを受諾する者は、同法、規則、規約規範、及び苦情処理手続を遵守することを誓約する。
<p>会員選考</p>	<p>フェローの選考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・候補者の推薦は毎年4月から6月にかけて行われる。候補者は2名の推薦者から推薦を受ける必要がある。 ・候補者を推薦する資格を有するのは、フェロー、アカデミーの地域構成団体の上級幹部、国内外の主要な専門団体及び学術組織の会員、研究機関における研究者又は経営幹部。 ・候補者から、推薦を受けることへの同意を書面で得る。推薦の有効期間5年。推薦後5年以内に選出されない場合は、3年間は再推薦されない。 ・学問分野別に評価パネル（Evaluation Panel）が設置される。各評価パネルは候補者を評価してショートリストを作成し、会員選考委員会に提出する。 ・会員選考委員会（評価パネルから2名が含まれる）は、評価パネルの推薦を検討する。候補者の評価はその業績のみに基づき、学問分野別クォータや出身地域別クォータは設けない。選考委員会は委員会の決定をアカデミー執行委員会に伝達する。 ・アカデミー執行委員会が、新たに選出されるフェローの人数を決定する。フェローの最大人数は、評議会の助言を考慮しながら、アカデミー執行委員会が制限を設けることができる。上限数と実際の会員数等を考慮し、総会での協議を経て、毎年の選出人数を制限することができる。 ・例外的に、アカデミー執行委員会が、ニュージーランドまたはアカデミーの学術に顕著な貢献をおこない、学術の発展に利益をもたらすと考えられる者を、フェローシップにふさわしいとしてフェローへの選出を検討することがある（3名のフェローの支持、執行委員会での満場一致の承認を要する。連続する3年間で2名まで）。 <p>コンパニオンの選考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・候補者の推薦は最低2名（最大5名まで）の推薦が必要。毎年4月末までに推薦書類を提出する。推薦は誰でも行うことが可能。 ・アカデミー執行委員会が評価基準に照らし候補者の推薦を

	<p>検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評議会はアカデミー執行委員会の助言を考慮し、候補者を承認するか否かを決定。 ・評議会が承認すれば、候補者はコンパニオンの会員資格を受け入れるように促される。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> ・フェローの推薦において、国内外の主要な専門機関及び学術組織の会員、研究機関における研究者又は経営幹部（指導的役割を担う者）も、推薦の資格を有する。 ・コンパニオンの候補者の推薦は誰でも可能。

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	ニュージーランド王立協会法第6条(e)において、「政府及びコミュニティに対し、重要な公的課題に関する専門的助言を提供する」ことが機能の1つとして規定されている。
科学的助言の実績	<p>2019年 7件、この他に政府への回答1件</p> <p>2020年 1件</p> <p>2021年 6件</p> <p>2022年 1件</p>

4. 財政

年間収入	<p>2021年度（会計年度は7月～6月）</p> <p>総収入 1,067万ニュージーランド・ドル（約8億4,700万円）</p> <p>主な内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政府との契約による収入 729万ニュージーランド・ドル（約5億7,900万円） ・会員会費 28万ニュージーランド・ドル（約2,200万円） <p>※1ニュージーランド・ドル=79.43円（2021-2022年平均）</p>
年間支出	<p>2021年度（会計年度は7月～6月）</p> <p>総支出 800万ニュージーランド・ドル（約6億3,500万円）</p> <p>主な内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員給与 450万ニュージーランド・ドル（約3億5,800万円） <p>※1ニュージーランド・ドル=79.43円（2021-2022年平均）</p>

5. 事業計画・外部評価

業務計画	2018-2021年の戦略計画（Strategic Plan）が公表されている。
------	--

外部評価	法（Financial Reporting Act 2013）に規定された資格を有する監査人の監査を受ける。
------	--

ポーランド科学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1952年
組織形態	国立の高等教育研究機関
カバーする学問分野	人文科学、社会科学、生物学、農学、数学、物理学、化学、地球科学、工学、医学
会員の資質	最高の科学的業績を有し、科学界における権威によって卓越した高い評価を得ている学者
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	会員報酬（月額）あり
会員数	国内会員 324名（最大350名） 正会員 173名 連携会員 151名 外国人会員 155名 （2023年8月時点）
アカデミーの機能	研究、顕彰、科学的助言、グラント、出版、科学知識の普及、研究ネットワークの運営
組織体制（意思決定機関の構造）	<ul style="list-style-type: none"> ・総会：最高意思決定機関 年2回開催。全ての国内会員により構成され、アカデミーの活動の方向性を定め、その実施を監督。 ・幹部会：アカデミーの日常業務を管理。会長、副会長3名、総会で選出された各部の代表、アカデミー支部の代表、アカデミーの科学部門の長、管理部門の長、事務局長で構成。
事務局体制	事務局長はアカデミー会長の要請により、ポーランド首相が任命。任期は4年。

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし。会長、副会長は、ポーランド首相が任命。
会員選出後の手続き	規定なし
会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・コ・オプテーション方式 ・総会で選出。 ・3名の会員による推薦（その他推薦できる者の条件あり）
会員の選考に	会員の推薦は、以下の者も可能。

おける会員以外の者からの意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> ・博士の学位を授与する権利を有する科学機関または研究機関の学術会議 ・学位を授与する権利を有する大学の教授会 ・特別な科学的業績と権威に優れた5名（うち少なくとも1名は海外で教授または同等の職に就いており、その他の者はポーランドで授与された教授の学位を有する）
------------------	--

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	アカデミー法第2条6)に「ポーランド共和国大統領、両院議長、大臣、中央政府行政機関の要請に応じて、または自ら主導して、国家の政策の計画及び執行に関連する事項について、意見、評価、専門家の意見、予測を実行する」と規定されている。同第7条7)に「科学、その応用、教育に関する規範的法律案について意見を述べる」とある。
科学的助言の実績	総件数は不明であるものの、アカデミーの下に専門家パネルが置かれ、うち新型コロナウイルス感染症諮問パネルでは2020年8月～2022年8月までの間に32回、気候変動諮問パネルでは2021年2月～2022年3月までの間に6回見解を発出している。

4. 財政

年間収入	アカデミー法第78条に「アカデミーの活動は政府予算及びその他の財源によって賄われる」と規定されている。
年間支出	公開情報なし

5. 事業計画・外部評価

業務計画	公開情報なし
外部評価	4年に1度、事務局の活動について外部監査を委託。

リスボン科学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1779 年
組織形態	科学技術高等教育省の監督下にある、法人格と行政上の独立性を備えた公的機関
カバーする学問分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 科学部門：数学、物理学、化学、地球宇宙科学、生物学、医学・健康科学、工学、情報科学、技術 ・ 文学部門：文学、哲学、言語学、心理学、教育科学、歴史学、法学、経済学・財政学、政治学、地理学・空間計画、コミュニケーション・芸術
会員の資質	正会員は、5年以上連携会員として在籍した者で、学術上の功績及び学識経験のある者
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	規定なし
会員数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員 105 名（2023 年 6 月時点） ・ 栄誉会員（国内外で優れた業績を有し、アカデミーに功労のあった者） ・ 名誉会員（正会員であった者で、アカデミーに格別の貢献があった者） ・ 正会員（5年以上連携会員として在籍し、学術上の功績と学識経験のある者） ・ ポルトガル人連携会員（ポルトガル国籍を有し、文学又は科学業績が認められ、アカデミーに効果的な協力を提供できる者） ・ 外国人連携会員（科学及び文学への貢献、あるいはポルトガルの歴史・文化に関する優れた研究によって国際的に認められた非ポルトガル人。ポルトガル語圏の出身者で、科学及びポルトガル語の価値向上に貢献し、国内外でその功績が認められた者）
アカデミーの機能	研究・研究の奨励、出版、教育、科学的助言、奨学金、顕彰
組織体制（意思決定機関の構造）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総会：アカデミーの意思を表明する責任を負う機関。毎年 1 回開催し、会長・副会長の選出、アカデミー規約・規則の改訂、予算案・決算の承認等を行う。 ・ 科学評議会：会長に科学的助言を行う合議制の諮問機関。18 名の正会員で構成され、総会で選出される。

	<ul style="list-style-type: none"> ・運営評議会：会長、副会長、事務局長、事務局次長、会計で構成。アカデミーの予算及び資金管理、不動産管理、助成金・奨学金の授与等を行う。
事務局体制	事務局長の下に、管理部門、アカデミー部門、財務部門、出版部門、国際部門、図書館、アーカイブ、博物館等が置かれている。

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし
会員選出後の手続き	アカデミーへの定期的な活動によって確定する。
会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・コ・オプテーション方式 ・各部門において正会員の欠員が生じた時に選挙が行われる。 ・欠員が生じた部門の正会員が候補者を指名することができる。候補者の学術業績、アカデミーへの協力や功績、所属部門における年功が考慮される。 ・投票は部門で行われ、絶対多数の得票を得た者が選出される。 ・部門の長は、アカデミー会長に選挙結果を伝達し、会長が選出された者に結果を伝達する。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	規定なし

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	アカデミー規約第4条 e)に「政府及び他の国家機関から要請された意見を作成すること」と規定されている。
科学的助言の実績	公開情報なし

4. 財政

年間収入	収入額は公表されていないが、規約によると、国家の一般予算、自己資産からの収入、出版物の販売収入、補助金、寄付金、相続財産、遺産等の受け入れを収入源としている。
年間支出	公開情報なし

5. 事業計画・外部評価

業務計画	公開情報なし
外部評価	公開情報なし

スロベニア科学芸術アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1938 年
組織形態	国立科学芸術機関 (Supreme National Institution of Sciences and Arts)
カバーする学問分野	歴史学、社会科学、哲学、文学、数学、物理学、化学、工学、自然科学、芸術学、医学
会員の資質	科学や芸術の分野において卓越した業績を持つ者
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	正会員及び連携会員には恒久的な月額報酬あり。
会員数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正会員 (Full Member) : 66 名 (75 歳未満の定数は 60 名) ・ 連携会員 (Associate Member) : 30 名 ・ 外国人連携会員 (Corresponding Member、スロベニア国民ではないが、正会員の資格を満たす科学者) : 85 名 (定数 90 名) ・ 名誉会員 (Honorary Member) ※会員数は 2023 年時点。人数に 75 歳以上は含まない。
アカデミーの機能	科学と芸術の育成・奨励、研究活動の評価・提言・意見表明、国内の少数言語コミュニティの科学・芸術活動支援、研究活動の組織化、研究機関の設置、広報・啓発、出版、国際協力。
組織体制 (意思決定機関の構造)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総会 : アカデミーの最高機関。正会員と連携会員で構成され、少なくとも年に 1 回開催。活動計画の採択、会員の選出、予算及び会計報告の承認等を行う。 ・ 幹部会 : 総会で決定された事項を執行する。会長、副会長 2 名、事務局長、6 つの学術部門の長、総会で選出された 3 名の会員で構成。 ・ 理事会 : 会長、副会長 2 名、事務局長で構成。
事務局体制	事務局長 (任期 4 年) の下、管理部門、印刷・出版部門、財務・会計部門、技術・調達・投資部門が設置されている。

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし
会員選出後の手続き	規定なし

<p>会員選考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員選挙は2年毎に総会で実施。 ・ コ・オペレーション方式 ・ 会員及び連携会員の選考は、正会員による秘密投票で行われる。 ・ 候補者の推薦は、アカデミー評議会（全ての学術部門の推薦可）と学術部門（該当部門の少なくとも3名の正会員）が行う。 ・ アカデミー評議会は選挙総会の少なくとも6か月前に推薦の提出期限を設定する。 ・ アカデミー評議会は選挙総会の少なくとも4か月前に、学術部門の推薦と意見を検討し、個々の部門の欠員数の上限を決定する。 ・ 提出期限後、学術部門は書面審査により最終候補者リストを作成する。候補者ごとに少なくとも2名の報告者（少なくとも1名は正会員）を任命し、報告者が肯定的な評価をした場合のみ選出可。他の学術部門の意見も聴取する。最終候補者選考の結果は、遅くとも選挙総会の1か月前までに評議会に提出される。 ・ 選挙総会において、各学術部門の長が正会員及び連携会員の候補者を提示し、審議後、無記名投票が行われる。過半数の賛成票を獲得した候補者が正会員、連携会員に選出される。
<p>会員の選考における会員以外の者からの意見聴取</p>	<p>候補者を審査する学術部門の報告者2名のうち1名は、アカデミーの正会員と同等のレベルの他のアカデミー会員が務めることが可能。</p>

3. 科学的助言機能

<p>科学的助言を行う根拠</p>	<p>アカデミー法第3条に「科学と芸術の位置づけ、発展と促進、研究活動の組織化と芸術の創造性に関する評価、提言、見解を述べる」と規定されている。</p>
<p>科学的助言の実績</p>	<p>2020年 1件 2021年 3件 2022年 1件</p>

4. 財政

<p>年間収入</p>	<p>アカデミー法第28条に「アカデミーの運営に必要な資金はスロベニア政府予算から調達される」と規定されており、こ</p>
-------------	---

	の他に助成金や遺贈、寄付等から資金を得ることも規定されている。
年間支出	支出項目として、アカデミーの業務（運営費、プログラム活動費）、会員報酬、減価償却・投資、芸術作品等の購入等がアカデミー法第 28 条に列挙されている。

5. 事業計画・外部評価

業務計画	財務評価を受けた年間事業計画を政府に提出することとなっている。
外部評価	会計検査院が監査を行う。

スペイン王立精密・物理・自然科学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1847年
組織形態	国立の公益法人
カバーする学問分野	数学、物理学・化学、自然科学（地質学、生物学）
会員の資質	<ul style="list-style-type: none"> ・選出されることになる部門の科学において、卓越した業績で評価されていること。 ・スペイン人であること（正会員・準会員の場合）。
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	年会費なし
会員数	<p>正会員（最大72名。5分の2は女性とする。） 48名 準会員（最大144名。5分の2は女性とする。選出の際に、少なくとも2名中1名は50歳未満とする。） 定員外の会員 8名 外国人会員（人数の定めなし） 名誉会員 1名 ※会員のジェンダーバランスに配慮することをアカデミーの規約で義務づけている。</p>
アカデミーの機能	<p>科学政策への助言・意見の表明、顕彰、科学技術用語制定・定義、海外の学術団体との協力、研究・教育プロジェクトの実施、科学文化・科学の普及及び啓発、アーカイブの維持、国際会議・セミナー開催、機関誌・科学報告書出版</p>
組織体制（意思決定機関の構造）	<ul style="list-style-type: none"> ・総会：アカデミーの最高機関 全ての正会員と定員外の会員で構成される。会員の選出、幹部の選出、予算の承認、アカデミーの立場を表明する全ての文書の承認、資産管理の確認、規約の改訂、戦略計画の承認、委員会の設置等を行う。決議は単純多数決によって採択される。 ・幹部会：会長、副会長、事務局長、副事務局長、財務担当幹事、図書館長、3学術部門の長で構成される。総会に提出する年間予算・戦略計画等の協議、アカデミーの職員管理、年間活動計画の策定、総会の日程の決定等を行う。
事務局体制	公開情報なし

2. 会員選考

会員の任命権者	公開情報なし
会員選出後の手続き	新会員は選出後 18 カ月以内に公開の就任式でスピーチを行う。18 カ月以内に行われない場合は就任しなかったものとみなされる。
会員選考	欠員が生じた場合、規則で定められた手順に従って、総会における会員の選挙により選出。会員総数の半数を超える出席者が必要。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	公開情報なし

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	アカデミー憲章で「政府に対し、特に国家の科学技術の発展のための科学政策に、その能力の範囲において声明、報告書、意見を発出し、調査を実施し、求めに応じて助言する」と規定されている。
科学的助言の実績	2021年 2件 2022年 3件

4. 財政

年間収入	金額は公開されていないが、アカデミーの資金は下記から構成される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国家の一般予算からの配分 ・ 行政機関、その他の公共団体又は民間団体等がアカデミーの特定の目的のために提供する資金 ・ アカデミーの著作物又は出版物の販売、サービスの提供、資産又はその他から生じる収入
年間支出	公開情報なし

5. 事業計画・外部評価

業務計画	定期的に戦略行動計画を策定する。
外部評価	公開情報なし

スウェーデン王立科学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1739年(英国王立協会とフランス科学アカデミーをモデルに設立)
組織形態	独立の非政府機関
カバーする学問分野	数学、天文学・宇宙科学、物理学、化学、地球科学、生物学、医学、工学、社会科学、人文科学
会員の資質	科学的業績を第一に考慮する。加えて、アカデミーにとっての潜在的有用性のほか、性別・地域・年齢のバランスも考慮。
会員は終身/任期	終身
年会費/会員報酬	規定なし
会員数	スウェーデン人会員 480名 外国人会員 175名(2023年5月時点) ※65歳以上の者はスウェーデン人会員候補になることができない。
アカデミーの機能	顕彰(ノーベル賞含む)、科学的助言、出版、研究資金(グラント)の提供
組織体制(意思決定機関の構造)	<ul style="list-style-type: none"> ・執行委員会(Presiding Committee): 会長、副会長3名、事務局長で構成。国内外の科学交流等に関連する事項を所管する。 ・理事会(Board): 会長、副会長3名、10の学術部門から各1名の代表者、事務局長で構成。アカデミー活動のマネジメントを行う。 ・総会(General Meeting): 年に10回(7月と8月以外)開催。理事会、会長、事務局長から付託された議題を審議し、決定する。臨時総会でノーベル賞関連の議事を扱う。会合は非公開。 ・年次総会(Annual Meeting): 毎年3月31日に公開で開催。新会員の紹介、アカデミーの活動報告がなされる。
事務局体制	事務局長以下38名(2023年5月時点)。 事務局長は会員の中から総会で選出される。

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし
会員選出後の	規定なし

手続き	
会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部門ごとに規定された会員数を下回った場合、当該部門は次回の総会で通知を受け、新会員の選挙を提案する。 ・ 部門の新会員選挙は、当該部門の投票権のある会員によって提案される。 ・ 候補者の推薦は、部門の指名委員会（Nomination Committee）に対して行う。 ・ 指名委員会は、候補者の科学的業績を第一に考慮し、加えて、アカデミーにとっての潜在的有用性のほか、性別・地域・年齢のバランスも考慮する。 ・ 部門会議において、指名委員会による考察後、審議を行い、投票権を持つ出席者による投票が行われる（投票の後に郵送投票も報告される）。 ・ 次の総会において、部門の提案を了承するかどうかを決定する。
会員の選考における会員以外の者からの意見聴取	規定なし

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	アカデミーの規則に「科学的根拠に基づいた社会的議論に参加する」とされている。
科学的助言の実績	2021年 4件

4. 財政

年間収入	2022年 1.9億スウェーデンクローナ（約25億円） うち政府からの補助金 2,000万スウェーデンクローナ（約2.6億円） ※1スウェーデンクローナ=13.0円（2022年平均）
年間支出	2022年 1.7億スウェーデンクローナ（約22億円） うち人件費 7,300万スウェーデンクローナ（約9.5億円） ※1スウェーデンクローナ=13円（2022年平均）

5. 事業計画・外部評価

業務計画	公表資料なし
外部評価	外部監査あり（アカデミーが監査人・副監査人を選ぶとともに）

	に、スウェーデン政府が監査人・副監査人を指名する。)
--	----------------------------

トルコ科学アカデミー

1. アカデミーの組織等

設立年	1994年（政令第497号の施行は1993年9月2日）
組織形態	政府機関（法令に基づき、科学的・管理的・財政的自立性を持つ、科学産業技術省に属する法人）
カバーする学問分野	物理科学、健康科学、エンジニアリング科学、社会科学
会員の資質	<p>正会員：トルコ国籍を持つ一流の科学者のうち次の条件を満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価の高い、国内または国際的な賞の受賞者。 ・ 自身の名を冠する発見、発明、理論またはモデルを持つ者。 ・ 教科書、書評で引用されている。 ・ 国際的な科学引用索引（SCI）で引用文献が多数あること。 <p>連携会員：トルコ国籍を持つ若く才能のある科学者で、正会員の候補たる者。</p>
会員は終身/任期	正会員は67歳まで（以降は自動的に名誉会員になる）。 連携会員の任期は5年（最長で通算10年）。
年会費/会員報酬	規定なし
会員数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正会員（Principal Member）：109名。トルコで勤務する教授の称号を持つ科学者の2%を超えることはできない。 ・ 連携会員（Associate Member）：22名。正会員の上限数の半分を超えることはできない。 ・ 名誉会員（Honorary Member）：74名。必要な資格は満たすものの、年齢制限により正会員になれないトルコ国籍を持つ科学者。もしくは正会員に必要な資格は満たした上で、トルコと何らかの繋がり又は協力関係を有する外国人科学者。人数制限なし。 <p>（2023年7月時点）</p>
アカデミーの機能	科学的助言、顕彰、出版、研究助成
組織体制（意思決定機関の構造）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評議会：会長、総会によって正会員の中から選ばれた12名の委員、各科学分野から選出された4名の委員で構成。委員の任期は3年。アカデミーに関する活動の組織・実施、委員会の設置、予算案の承認、研究所等の設立・廃止の決定、研究所等への財政支援の決定、規則・手続の承認、法整備関連の調査実施、国内外機関との協定・共同活動に関

	<p>する決定等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総会：会員、連携会員、名誉会員で構成。ただし外国人名誉会員は議決権なし。少なくとも年1回開催。評議会が作成・提案する戦略・方針の審議・承認、評議会の業務の評価、実施すべき活動の提案、評議会メンバーの選出、正会員及び連携会員の候補者に対する選挙・決定等。
事務局体制	事務局長の下に、会員事務関係、国際関係、広報、戦略・経営企画局、研究支援局、管理・財務局が設置されている。

2. 会員選考

会員の任命権者	規定なし
会員選出後の手続き	規定なし
会員選考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正会員及び連携会員は、下記の三つの主体が同じ割合で推薦する候補者を、評議会が理由を付して受理し、各科学分野に属する総会メンバーの承認を得ることによって選出。 ・ 3分の1は TUBITAK（トルコ科学技術研究評議会）の科学理事会（Science Board）によって推薦。 ※TUBITAK は、科学技術政策を策定し、研究開発を支援・実施する国の機関。 ・ 3分の1は YOK（高等教育委員会）によって推薦。 ※YOK は、憲法に基づく権限と責任で大学の監督を行う機関。 ・ 3分の1は正会員によって推薦。 正会員を選出する場合は、正会員が候補者を評議会に書面で提出（候補者は推薦者の他、2名の総会メンバー（正会員または名誉会員）から推薦されなければならない）。評議会の承認の後、候補者リストは承認のために総会に提出される。 ・ 名誉会員は、少なくとも10名の正会員もしくは名誉会員、YOK 又は TUBITAK が提案した候補者の中から、評議会が選出。 ・ TUBA 国際アカデミー賞受賞者は、評議会の決定により名誉会員に選出され得る。
会員の選考における会員以外の者からの	<p>会員以外の者からの推薦で選出される枠がある。</p> <p>※TUBITAK（トルコ科学技術研究協議会評議会）や YOK（高等教育委員会）による推薦。</p>

意見聴取	
------	--

3. 科学的助言機能

科学的助言を行う根拠	「科学的優先順位を決定すべく、科学的問題に関する調査や専門的助言を実施する」「国の科学戦略のための報告および出版活動を行い、関係機関と共有する」（2021年11月13日付大統領令第86号）と規定されている。
科学的助言の実績	2021年 1件 2022年 3件

4. 財政

年間収入	2022年予算 3,001万トルコ・リラ（約2.4億円） ※特別予算を持つ機関として、アカデミーの収入のほとんどが国庫からの補助。 ※1トルコ・リラ＝8円（2022年間平均）
年間支出	公開情報は存在するが、トルコ語のためとりまとめ困難。

5. 事業計画・外部評価

業務計画	2019-2023年の戦略計画を策定。
外部評価	公開情報なし